壮大とは　Y27

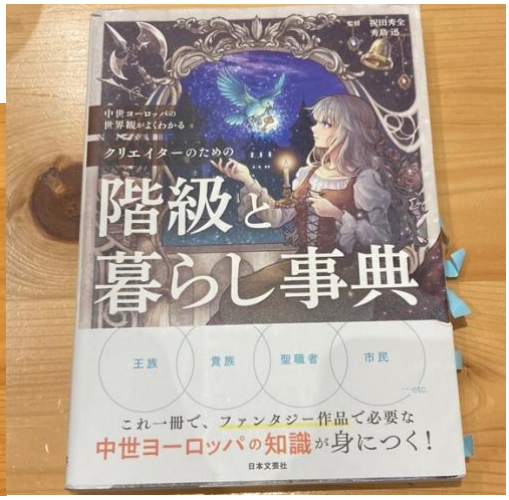
2024 年 6 月　Kimamass 参加後初のハングアウト

最初に‘壮大’というテーマを聞いたとき、私の頭の中では、「うーみーはーひろいーなー」でおなじみの曲が流れました。ブレインストーミングで出てきた単語は、海、空、地球、国、宇宙、などでした。そこからどう広げるかを考える余裕はなかったです。

私にとっては“ぶんしょうをかくこと”が壮大です。

その理由は、今月末の初めての文学賞応募のために小説を執筆していたからです。第二回あたらよ文学賞で、テーマは‘青’。その小説の土台をつくって思いついたことをメモして、そういう日々を過ごしていた私には考える余裕がどこにもなくて、とりあえず小説に集中しよう、ということでパソコンや紙に向き合って打ったり書いたりしていると、ふっと頭にハングアウトのアイディアが浮かんできました。私にとって初めての長編小説の執筆で、世界観からつくり、登場人物や話の流れを考える。その作業は想像しているよりも大変で、実際に物語として文章にしようとするとなかなか筆が進みませんでした。私は読書が大好きな子供で、特にファンタジーをよく読んでいました。今回の私もファンタジーに近い設定で物語を組み立てました。私にとっての‘壮大’は、「小説を書くこと」です。いろんな作家さんがいらっしゃいますが、皆さんそれぞれの個性をだした小説があって、とっても面白いです。今回は、私が青をテーマにして書いた本に使った写真とともに、初ハングアウトを終了させていただきます。





写真；海の辞典・青の図鑑・階級と暮らし事典